

## 未成熟そらまめ

農薬取締法上、「未成熟そらまめ」は「そらまめ」とは別の作物である。

「未成熟そらまめ」には、「未成熟そらまめ」「豆類（未成熟）」「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

—— 発病・加害時期  
 === 発病・加害最盛期

| 作型・病害虫名 |   |   |   |   | 月 |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|
|         |   |   |   |   | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 秋       | ま | き |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |
|         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |
| 赤       | 色 | 斑 | 点 | 病 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |
| さ       |   | び |   | 病 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |
| 輪       |   | 紋 |   | 病 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |
| ウ       | イ | ル | ス | 病 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |
| ア       | ブ | ラ | ム | シ |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |
|         |   |   |   | 類 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |

## 赤色斑点病

### 留意事項

- 1 QoI剤<<1 1>>、SDHI剤<<7>>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

### 防除方法

- 1 収穫後、被害株を集めて、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 2 ほ場の排水を良くする。
- 3 密植を避け通風を図る。
- 4 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [ロブラール水和剤](#) <2> 【1000倍 前日／3回】
  - ・ [ファンタジスタ顆粒水和剤](#) <<1 1>> 【2000倍 前日／3回】
  - ・ [カンタスドライフロアブル](#) <<7>> 【1000倍 前日／3回】

## さび病

### 留意事項

- 1 高温多雨の年に発生が多い。
- 2 ジマンダイセン水和剤はかぶれに注意する。
- 3 アミスター20フロアブルは、薬害のおそれがあるため、浸透性を高める展着剤を加用しない。
- 4 QoI剤<<1 1>>、SDHI剤<<7>>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

### 防除方法

- 1 収穫後、被害株を集めて、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 2 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
  - ・ [ジマンダイセン水和剤](#) <M3> 【400～600倍 30日／3回】
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [アミスター20フロアブル](#) <<11>> 【2000倍 3日／3回】
  - ・ [アフェットフロアブル](#) <<7>> 【豆類(未成熟、除えだまめ、さやいんげん) 2000倍 前日／3回】
  - ・ [オンリーワンフロアブル](#) <3> 【4000倍 前日／2回】

## 輪紋病

### 留意事項

- 1 ジマンダイセン水和剤はかぶれに注意する。

### 防除方法

- 1 被害茎葉は早く除き、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 2 種子は無病株から採種する。
- 3 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
  - ・ [ジマンダイセン水和剤](#) <M3> 【400～600倍 30日／3回】

## ウイルス病

### 留意事項

- 1 種子、アブラムシ類により伝染する。
- 2 秋期感染による被害が最も大きい。

### 防除方法

- 1 健全株から採種した種子を用いる。
- 2 苗床は寒冷しゃで被覆する。
- 3 苗床及び本ぼでの発病株は見つけ次第、抜き取り処分する。
- 4 有翅アブラムシ類の防除に努める。(アブラムシ類の項 参照)
- 5 除草を徹底する。

## アブラムシ類

### 留意事項

- 1 アドマイヤー1粒剤の成分イミダクロプリドの総使用回数は3回以内(定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内)。
- 2 スタークル顆粒水溶剤、アルバリン顆粒水溶剤は同一成分ジノテフランを含み、総使用回数は2回以内。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

---

防除方法

- 1 シルバーポリフィルムで、マルチングする。
- 2 下記の薬剤を施用する。
  - ・ [アドマイヤー1粒剤](#) <4 A>  
【3kg/10a まき溝土壌混和 は種時/1回】または  
【2g/植穴（但し、6kg/10aまで） 植穴土壌混和 定植時/1回】
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) <4 A> 【2000倍 7日/2回】
  - ・ [アディオン乳剤](#) <3 A> 【3000倍 7日/3回】
  - ・ [コルト顆粒水和剤](#) <9 B>  
【豆類（未成熟、除さやいんげん） 4000～6000倍 前日/3回】
  - ・ [オレート液剤](#) <—> 【野菜類（除いちご） 100倍 発生初期～収穫前日/—】

---

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。